



# 心理学

※【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

## 1.心理学とは

心理学 (psychology) …語源からいえば、心あるいは精神をその研究対象とする学問を意味する。ギリシャ時代に端を発し、近世にいたって、意識を心理学の研究対象であるとする W.ブントらの立場が確立された。J.B.ワトソンはその難点を指摘して、心理学は動物または人間の行動のみを研究対象とする科学であると主張した。(行動主義)

他方、S.フロイトによって無意識の概念が提出され、人間の異常行動や病的反応を扱う道が開かれた。

こうした史的系譜のもとに、現代の心理学は人間および動物の個体としての行動や集団としての行動(社会的行動)を扱う分野から、人間の感覚、知覚体験を精神物理学的、実験現象学的に解析しようとする分野、さらには精神療法やパーソナリティの形成過程を問題にする分野にまで及ぶ、広範囲の領域を包括する学問となっている。  
(ブリタニカ・オンライン・ジャパンより引用)

## 2.分類 (NDC9版)

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

分類番号	分野
140	心理学
141	普通心理学・心理各論
143	発達心理学
145	異常心理学
146	臨床心理学・精神分析学
147	超心理学・心霊研究
148	相法・易占
149	応用心理学

## 3.辞典・事典

『APA 心理学大辞典』 【140.3/V 28 品川 2F 参考図書】

G.R.ファンデンボス原著監修, 繁栞算男, 四本裕子監訳, 培風館, 2013

心理学の概念、心理的過程、心理治療を網羅し、かつ、重要な人物、組織や施設、心理テストやアセスメントについて基本的な用語が取り上げられている。見出し項目については簡潔な文章で説明されている。

『心理学総合事典』新装版 【140.3/Sa85 品川 2F 参考図書】

佐藤達哉 [ほか] 編, 朝倉書店, 2014

心理学の体系に沿って構成されている。心理学の歴史や方法論から、技法、心の諸機能、心の病態とその原因・治療法など、心理学・臨床心理学の基礎事項を網羅している。消費者心理学など、心理学と異なる学問領域の2つを組み合わせ、心理学の新しい領域についての詳細も書かれている。

卒業論文のテーマ関連事項を調べたい人、大学院に入りたい、あるいは入ったが、心理学全般の基礎が足りないと感じている人など、心理学に携わる人全般に適した事典となっている。



## 4. 入門書

『心理学へのファーストステップ』 【140/H 28 品川 1F 図書】

羽成隆司, 河野和明編著, おうふう, 2010

心理学に興味を持ち始めた人に読んでほしい、教科書の前に読む本。7つの身近なテーマを取り上げ、心理学がどのような学問なのかを、易しく紹介している。

『はじめて学ぶ心理学』 【140/Su96 品川 1F 図書】

鈴木康明, 飯田緑編著, 北樹出版, 2015

心理学の基礎を学ぶための本である。学問としての心理学の始まりから、精神医学の基礎まで幅広く収められており、“教科書が難しい” “興味はあるけど専門書はちょっと…” という方にオススメしたい本である。

『図説心理学入門』第2版 【140/Sa25 品川 2F 学修支援(心理)/品川 1F 図書】

斎藤勇編, 誠信書房, 2005

心理学をはじめて学ぶ人のための図説入門書である。心理学全般についての基本的な知識が得られるように、丁寧に説明されており、重要な考え方や主要な実験についてもトピックスとしてまとめている。

『心理学大図鑑』 【140/C 84 品川 1F 図書】

キャサリン・コーリン [ほか] 編, 小須田健訳, 三省堂, 2012

あまりに広大で多岐にわたる心理学の主題を理解するため、心理学の哲学的なルーツから差異心理学へ至る道筋を、代表的な研究者の思想や生い立ちについて、図や写真を使ってわかりやすく説明している。

## 5. 雑誌

『立正大学心理学研究年報』 【R-1/125 品川 B3 紀要(新刊は3F立正大学紀要コーナー)】

立正大学心理学部, 立正大学大学院心理学研究科編

立正大学心理学部が発行している研究紀要。臨床心理学、応用心理学、対人・社会心理学といった領域の心理学に関する研究のほかに、修士論文概要、博士学位論文概要等を収載。心理学部 HP (<http://ris-shinri.jp/>) にて本文が公開されている。

『臨床心理学』 【140.5/5 品川 B3 雑誌(新刊は3F立正大学紀要コーナー)】

金剛出版

心理臨床家やカウンセラー、心理療法家をはじめとするところの専門家が必要としている実務的かつ学問的な考え方や治療技法、新しい知見などの情報が提供されている。隔月刊(奇数月10日発売)。

## 6. インターネット(学会サイト等)

『公益社団法人 日本心理学会』 <http://www.psych.or.jp/>

国際交流活動、大会、シンポジウム、講演会、刊行物、認定心理士資格の案内等の情報が掲載されている。機関紙『心理学研究』(隔月刊行 年6冊/1年1巻)、『Japanese Psychological Research』(季刊 年4冊/1年1巻)の発行を行っている。

『一般社団法人 日本心理臨床学会』 <http://ajcp.info/>

日本心理臨床学会大会(年次総会と研究発表)研究会、大学院生のための研究集会、心理臨床研究に対する顕彰、国際交流、会員の倫理臨床のためのカリキュラムの検討、日常時や非常時における心理臨床活動の支援等の情報が掲載されている。機関誌『心理臨床学研究』(年6回)、広報誌『心理臨床の広場』(年2回)の発行を行っている。